

会 議 録

1 会議名

令和4年度第4回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

(1) 中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について

○協議事項（公開）

(1)令和4年度牧区地域協議会委員視察研修について

○自主的審議事項（公開）

(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

3 開催日時

令和4年6月21日（火）午後7時00分から午後8時15分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、池田幸弘、井上光廣、小黒誠、折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄、横尾哲郎
- ・ 板倉区総合事務所：関根グループ長
- ・ 事務局：牧区総合事務所 山岸所長、小林次長、佐々木グループ長、藤井班長、佐藤班長、田中主事（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【小林次長】

- ・ 会議の開会を宣言。

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：坂井委員に依頼。
- ・本日の報告事項である(1)中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について、板倉区総合事務所より説明を求める。

【関根グループ長】

—「中山間地域農業の維持・振興に向けた地域自治区別ワークショップ（みらい農業づくり会議）開催状況及び今後の展開」に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明があった件について、質問や意見等はないか。

【井上委員】

- ・このタイミングで説明する意味や意図はどのようなものなのか。

【関根グループ長】

- ・今後、地域協議会で「地域活性化の方向性」について検討されていくと思われる。ワークショップに参加された中山間地域の農業者や直接支払協定の代表者、多面組織の代表者の他にもぎの会や木草庵など、産業関係の団体に所属される方もいらっしゃり、牧区の強みや弱み、それらをどのように生かすか、または打開していくかを具体的に話されていたことから、その内容を地域協議会委員の皆さんにもご承知おきいただければと思い、今回説明させていただいた。

【西山会長】

- ・他に意見がなかったため、報告事項について終了し、板倉区総合事務所からはここで退出していただく。続いて、協議事項(1)令和4年度牧区地域協議会委員視察研修について、事務局に説明を求める。

【藤井班長】

—資料No. 1に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。事務局からも説明があったように、去年は視察研修が中止となった。それらも踏まえ、今年はどうするかを決めていきたいと思うので、ご意見等があればお願いしたい。

【高澤委員】

- ・視察研修については、どうしても実施しなければならないものなのか。

【西山会長】

- ・実施しなければならないという決まりがあるわけではないが、過去の慣例に基づき、継続して行われてきたことから、皆さんにお伺いした次第である。本日はひとまず実施するか否かを決定し、今後詳細を検討していきたいと思うのでよろしくお願いします。

【横尾委員】

- ・まだ4回目の新型コロナウイルスのワクチンも接種していないため、個人的には、無理に行かなくても良いと思われる。4回目のワクチンを接種し終えた来年に実施する形で良い。

【西山会長】

- ・新型コロナウイルスを理由に実施しない旨の意見も出ており、やめることは簡単だが、今までの視察研修では、実施することで何かしら得るものはあったと思う。

【小黒委員】

- ・ようやく上越市も新型コロナウイルスの感染者が少しずつ減少傾向となり、全国的にも減少している。経済が回りつつ、感染者が減少傾向であることから、新型コロナウイルスを理由に物事を中止するのはそろそろ終わりにしなければならない。少しずつ動いていかないと前に進むことができない。先程西山会長も言われたように、実施することを前提に準備したうえで、感染者が増えた場合は中止することで良いと思われる。

【高澤委員】

- ・それらを踏まえると、去年は中止となったが、長年継続して実施されている。

【西山会長】

- ・実施しなくて良いという方がいれば別だが、昨年度も実施していないことから、今年度は実施する方向性でよろしいか。

【折笠委員】

- ・研修を実施する場合、最も実があるのは来年審議するものを決めて、それに関わることが良いと思われる。それを考えると、現状取り組んでいることの結論を出して、10月にどこへ行くかを決め、11月に視察研修を実施する場合、日程的に無理があると考え。それ以降になれば、今度は雪の問題が出てくる。私の考えとしては、実施しない方が良いと思う。

【西山会長】

- ・10月に決めるということはないと思うので、もっと早い段階で行き先や目的をはっきりさせなければならない。

【折笠委員】

- ・私個人の意見である。

【西山会長】

- ・行き先や目的については今後協議していくとして、ひとまず実施する方向性でよろしいか。

(一同、異論なし)

【西山会長】

- ・それでは、今年度は視察研修を実施することに決定したいと思う。

【藤井班長】

- ・今程、視察研修を実施する方向性で決定したため、資料No. 1「視察研修の要望調査」視察先や日程等のご希望があれば、次回地域協議会で提出いただきたい。

【西山会長】

- ・それでは協議事項について終了する。続いて、自主的審議事項(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について、事務局に説明を求める。

【小林次長】

- ・まず、前回の地域協議会で出た意見を整理し、報告させていただく。1点目が地域活動支援事業について、以前配布したスケジュール表の自主的審議事項パターン②をご覧いただきたい。前回地域協議会にて、「夢まつりや灯の回廊は各町内や団体だけでは

なく牧区全体として取り組む事業であることから、地域協議会で意見を吸い上げて今後どうするかを整理する必要がある」との意見もある一方、「灯の回廊はやめても良い事業ではないか」といった意見もあった。他にも、「牧文化協会や牧振興会などの事業を継続すれば良い」、「公民館事業については、本来市で実施する形が良い」など、様々な意見をいただいた。これらの意見を受け、6月28日に牧コミュニティプラザで各団体との意見交換会を実施し、事業を継続する意向や動向を伺う予定のため、各委員から当日の出席についてお願いしたい。意見交換会の内容をもとに、次回地域協議会で牧区として残すべきものを検討いただきたいと思います。続いて、スケジュール表の自主的審議事項パターン①をご覧ください。前回の地域協議会では主に「昨年実施した意見交換会を受け、『子育て』関係を深掘りしてはどうか」や「農業に加え、収入につながるメープルシロップなどもあることから産業も大事」との意見があった。自主的審議として今後検討していく中で、これら「子育て・子ども」、「産業（農業・林業）」の大きな2項目に加え、他にも項目として挙げられるものがあれば提案いただき、協議を進めていきたいと思う。本日は時間が限られているため、各項目の現状と課題について、皆さんから今一度ご意見をいただき、整理していきたい。

【西山会長】

- ・今程説明があったように、前回地域協議会での意見を整理し、大きな項目を二つ挙げさせていただいた。本日は、「子ども・子育て」と「産業（農業・林業）」の各項目の現状と課題を整理してまとめたい。また、二つの項目以外にもあれば挙げていただきたいと思いますので、発言をお願いします。また一人ずつ意見を伺いたいと思う。池田委員から説明をお願いします。

【池田委員】

- ・現状と課題について、例として「小中ともに児童数が減少している」と挙げられているが、これに付随する課題もあれば、全く別の課題もあると思われる。どちらを挙げても良いのか。

【藤井班長】

- ・どちらの意見を挙げていただいても良い。

【池田委員】

- ・私の幼少期と比較すると、子どもが減少していると感じ、近所の子どもとすぐに遊ぶ

機会も少ないように思われる。当時はそれらを通して、町内会の大人と関わるなど上下の関係を築く機会があったが、現在はそのような機会も少なくなっていると思われる。

【井上委員】

- ・例えば、少子化である現状に対し、強みとして子ども一人ずつに細やかな対応ができることが挙げられるが、その施策として教育委員会に複式学級を求めるという話ではなさそうである。そのため、委員同士で一度グループ討議を行ってはどうかと考える。

【小林次長】

- ・事務局としては、一人ずつ意見を伺いたい、なかなかまとまらないところもある。本日は報告事項等もあり、自主的審議の時間が限られてくることも想定されたため、全体で現状と課題について整理いただき、次回からグループに分かれて討議を行えたら良いと考えていた。委員の皆さんからグループ討議を行うことについてご意見等があれば伺いたい。

【山岸所長】

- ・率直に話すと、前回地域協議会で意見が出た「子ども・子育て」と「産業（農業・林業）」の二つの課題であれば、次回から各グループに分かれて討議いただく形としたい。しかし、これら二つの課題に絞らず、他に優先的に取り組む課題があれば挙げていただければと思う。

【横尾委員】

- ・前回の地域協議会では、清水委員より項目ごとに分類いただいた資料を拝見した。今程小林次長から説明があったように、「子ども・子育て」や「産業（農業・林業）」、また「高齢者」等それ以外の課題を協議していく際、グループ討議はとても有効な手段だと思う。本日举行うことは難しいと思うが、グループ討議を行う方向性で進めていくことができれば良いと思われる。

【西山会長】

- ・「子ども・子育て」と「産業（農業・林業）」に絞り、協議を進めていくということか。

【横尾委員】

- ・前回の協議でピックアップされた二つの課題に加え、清水委員から作成いただいた資料にもあったように、「高齢者」等の課題も挙げられる。三つ目の課題に関しては、グ

グループ討議の中で拾い上げて良いと思われる。グループごとに協議した上で、別のジャンルの課題が挙がってきても良い。私としては、ぜひグループ討議の方向性で進めていただきたいと思います。

【西山会長】

- ・課題を三つ挙げなければならないということではない。

【横尾委員】

- ・その点に関しては理解している。グループ討議の中では全く別の課題が挙げられることも想定される。

【山岸所長】

- ・横尾委員が言われるのは、「子ども・子育て」と「産業（農業・林業）」の二つのグループをつくる中で、主の課題だけではなく、もう一つ取り組む課題があれば挙げるということか。

【横尾委員】

- ・とても近い考えである。課題を分類いただいたので、グループをいくつにするかということである。

【山岸所長】

- ・我々も同じ考えである。課題が二つであれば6人ずつ、さらに課題が一つ加われば4人ずつのグループとなる。

【横尾委員】

- ・今までの自主的審議に伴う意見交換会も4人ずつの三つのグループで行われていた。

【坂井委員】

- ・前回、清水委員が作成された案が非常に良くまとめられており、牧区の人が安心・安全に長く住み続けられて良かったと思えるように、「子育てしやすい社会づくり」、「高齢者に優しい社会づくり」、「支え合う社会づくり」、「自然の豊かさを生かした循環型経済の確立」といった四つの柱がある。この四つのグループに分かれて、一つのテーマを協議した後、全体で話し合うような形はどうかと思う。

【西山会長】

- ・4つのグループとした場合、各グループが3人ずつとなることが懸念される。

【清水委員】

- ・意見を出し合うためにグループに分かれることは賛成だが、テーマごとに分かれるのではなく、全体で同じことを話した方が良いと思う。

【井上委員】

- ・私も同意見である。各グループで協議した結果、最も話しやすかった課題等があるかもしれない。二つの課題を固定し、もう一つの課題は各グループで協議する等、様々な方法も考えられる。人数としては6人は多いことから、4人程度が最も良いと思われる。

【清水委員】

- ・少し時間もかかってしまうが、全員で同じことを検討した方が良いと思う。

【西山会長】

- ・次回は三つのグループに分かれて討議を行うこととする。班編成に関しては、事務局に一任する形でよろしいか。

(一同、異論なし)

- ・次回グループ討議を行うことに決定したため、自主的審議事項について終了し、続いて、その他連絡事項について事務局に説明を求める。

【田中主事】

- ・「牧区地域協議会だより（第55号）」6月25日号発行について
- ・4区地域協議会委員合同研修について
- ・次回地域協議会の開催について、年間スケジュールだと7月19日の火曜日を予定しているが、市の担当課より地域協議会への説明を予定している関係上、7月12日の火曜日、午後6時30分からに変更させていただく。
- ・「地域活性化の方向性」の作成について

【西山会長】

- ・意見を求めるが発言がなかったため、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。